

第1回 さまざまな視点で世界を見る

=トルコ・シリア北部地震 チャリティ講演会=

外国語学部・人文学研究科外国学専攻の専攻語や教育・研究の特色を生かして、そのときに最も世界的な課題と関連付けられるテーマを設定し、参加者に新たな視点を得る体験をしていただく企画です。

2023

7/22

(SAT)

14:00-16:30



同日開催!!

時間 ▶ 17:00~19:00
「トルコ料理と箕面ビールを楽しむ会」
どなたでもご参加いただけます。
この機会に、世界三大料理の一つ、
トルコ料理に親しんでみませんか。

提供：CODE海外災害援助市民センター

日時：2023年7月22日(土) 14:00~16:30 【定員：250名】
場所：大阪大学箕面キャンパス 外国学研究講義棟 1階大講義室
参加費：(一般) 1,600円 (大阪大学の学生) 500円 (高校生以下) 500円
*「トルコ料理と箕面ビールを楽しむ会」で使えるドリンクチケット込み



お申込み用QRコード

テーマ：「トルコ・シリア北部地震」

被災地の複雑な状況とは



岩城 あすか
(公財)箕面市国際交流協会
事務局次長

大阪外国語大学トルコ語専攻を卒業後、1997~2001年までトルコ共和国のイスタンブール大学(院)に留学。留学中の1999年にトルコ北西部地震が発生。日本の新聞社や出版社、テレビ番組等のトルコ語通訳等に従事するほか、復興支援プロジェクトにも携わる。帰国後はトルコ共和国大使館商務部や国連UNHCRなどの臨時通訳を経験。

違法建築と政治の関係



宮下 遼
大阪大学 人文学研究科
外国学専攻准教授

大阪大学人文学研究科外国学専攻准教授。専門はトルコ文学史。著書に『物語イスタンブールの歴史』(中央公論社)、『無名亭の夜』(講談社)、『トルコ語』、『多元性の都市イスタンブール』(ともに大阪大学出版)ほか。訳書にオルハン・パムク『私の名は赤』、『ぼくの違和感』、『ベストの夜』(ともに早川書房)など多数。

学生が見た被災地の現在



島村 優希
大阪大学人間科学部
4年生

大阪大学人間科学部4年生。共生行動論研究室に所属し、災害ボランティアについて社会心理学を通じて学ぶ。2022年10月からCODE海外災害援助市民センターのインターン生。CODEを通じ、被災地のトルコに3/21~3/31の間の現地調査に同行した。

総領事からのメッセージ



ウムット・
リュトフィ・
オズテュルク

在名古屋トルコ共和国
総領事館 総領事

在名古屋トルコ共和国総領事。1977年に生まれ、アンカラ大学政治学部国際関係学科を卒業。ジョージア、オーストラリア、イタリア、スイス、マケドニアにあるトルコの在外公館勤務を経て2021年4月から現職。

講演会における収益は、CODE海外災害援助市民センターを通じて、全額トルコ地震支援のために寄付させていただきます。

主催：大阪大学外国語学部、大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻

協力：株式会社 箕面ビール、大阪大学人間科学部・大学院人間科学研究科、大阪大学日本語日本文化教育センター、大阪大学21世紀懐徳堂、大阪大学大学院人文学研究科

後援：箕面市、箕面市教育委員会、吹田市教育委員会、豊中市教育委員会、池田市教育委員会、(公財)箕面市国際交流協会 (企画協力)



トルコ・シリア北部地震 チャリティ講演会

2023年2月、トルコ東部およびシリア北部は巨大地震によって甚大な被害を受けました。死者は5万人を超え、いまなお約25万人が仮設住宅やテントでの暮らしを余儀なくされています。また今回の震災は大統領選挙直前に起こったことも相まって、トルコにおいて地震対策の遅れや違法建築の蔓延、それを許してきた政治・行政の体質など、さまざまな問題を提起しています。奇しくも今年、建国100周年を迎えるトルコのいまについて、トルコの地震とその歴史、現地報告などを交えながら考えます。



提供：CODE海外災害援助市民センター

● 14:00 — 16:30 外国学研究講義棟1階大講義室

1. 講演：岩城 あすか 「被災地を通して考える復興支援 ～マルマラ地震（1999年）とトルコ&シリア地震（2023年）の状況から～」

トルコ留学中に経験したマルマラ地震の復興支援の状況と、今回の被災地の様子を比較しながら、トルコ南東部やシリア北西部の複雑な状況について理解を深め、効果的な支援の在り方について考えます。

2. 講演：宮下 遼 「違法建築と政治、不法居住者という文化：トルコ共和国の都市化を考える」

第2次世界大戦後、トルコ共和国は急激な都市化を経験しましたが、それは不法移住者の都市への^{いしゅう}蝟集と違法建築の氾濫を特徴としていました。本講演では主に80年代以降の不法居住区をめぐる文化的、政治的な動きを概観しながら、今回の震災について都市化という視点から考察します。

3. 講演：島村 優希 「復興支援ボランティアを通じた、学生の視点から見た被災地」

NGO(CODE海外災害援助市民センター)を通じて、訪れた地震発生1ヶ月半後の被災地。テント、仮設住宅をまわり、被災者一人一人から様々なお話を伺いました。被災者の話から見える被災地の状況をお伝えすると共に、学生として感じた気づきや思いをお話しします。

4. ビデオレター：ウムット・リュトフィ・オズテュルク

「トルコと日本 永遠の友」

● 17:00 — 19:00 外国学研究講義棟3階ピロティ、阪大広場

5. トルコ料理と箕面ビールを楽しむ会 《意見交換会》

チャリティ講演会にちなんだトルコ料理と箕面ビールをお楽しみいただきます。

世界三大料理
の一つ

トルコ料理と箕面ビールを楽しむ会

日本でなじみの薄い「トルコ料理」ですが、世界三大料理の一つとされています。
この機会に、「トルコ料理」に親しんでみませんか？どなたでもご参加いただけます！
箕面ビール、トルココーヒー、チャイもぜひ一緒にお楽しみください。

日時

2023年7月22日(土) 17:00~19:00

場所

外国学研究講義棟3階ピロティ、阪大広場

参加方法

どなたでも当日参加可
(トルコ料理セットメニュー2,400円は要予約)



お申込み用QRコード

● 講演会にご参加された方 ●
箕面ビール もしくは オーガニックジュース
が飲めるドリンクチケット1枚付き！



セイハン シェフによる
トルコ料理の解説もあるよ。

特製チョコレートケーキ



セイハン シェフ
(イスタンブールの5つ星ホテル「ペラ・パラスホテル」の製菓長
だった方が料理全般を担当。)



ジャジュク
(さっぱりとした、キュウリと
ヨーグルトの冷菜)



トルコ語専攻による
トルココーヒー 1杯 100円



箕面ビールの定番4種類、
限定2種類が味わえる。



チョバン・サラタス
(地中海風フレッシュサラダ)

ムサカとピラウ
(ムサカは、ナス、トマト、ひき肉を使った伝統的な料理。
ピラウは日本ではピラフですが、トルコが発祥の地。)



工場直送、生ビール 1杯 600円

トルコ語専攻によるトルココーヒーとチャイの販売の収益、並びにトルコ料理、箕面ビールの収益の一部は、CODE海外災害援助市民センターを通じて、トルコ地震支援のために寄付いたします。

(料金は全て税込)



主催：大阪大学外国語学部、大阪大学大学院人文学研究科外国語専攻

協力：株式会社 箕面ビール、大阪大学大学院人文学研究科、大阪大学21世紀懐徳堂

後援：(公財)箕面市国際交流協会(企画協力)

協力組織のご紹介

● (公財) 箕面市国際交流協会 (MAFGA)

1992年6月に財団法人として設立され、2013年4月に公益財団法人に移行した箕面市国際交流協会は、①外国人市民の人権保障、②多文化共生社会の実現、③市民参加による地域づくりの推進の3つのミッションを掲げて、市民、ボランティア、行政との協働のもと、地域に根差した多文化共生社会の実現に向け取り組みを行っている。



日本語学習教室の集合写真

● 株式会社 箕面ビール

箕面ビールは、大阪箕面に誕生したブリュワリー（ビール醸造所）で、1997年に製造を開始して以来、これまで数々の世界コンクールで金賞を受賞するなど国内外から高い評価を得ており、地元箕面市民に愛されている企業の一つ。

また、地域の自治会と共催のイベント「創業感謝祭」を開催するなど、地域活性化にも力を入れている。



直営店「WAREHOUSE」で出来たてのフレッシュなビールを提供

● CODE海外災害援助市民センター

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の経験と知見を活かし、幅広い智恵や能力をもつ企業、行政、国際機関、研究機関、NGOなどを含めた市民の集まる場として2002年1月17日に発足。前身となる阪神大震災地元NGO救援連絡会議の時期も含め、これまで63回の救援活動を行ってきた。「最後のひとりまで」の理念を胸に、「寄り添いからつながりへ」人間復興となる救援を実践している。

トルコ・シリア北部地震では、震災地と日本をつなぎながら、被災地の情報を発信したり、救援募金の協力を呼び掛けるなどの活動を続けている。

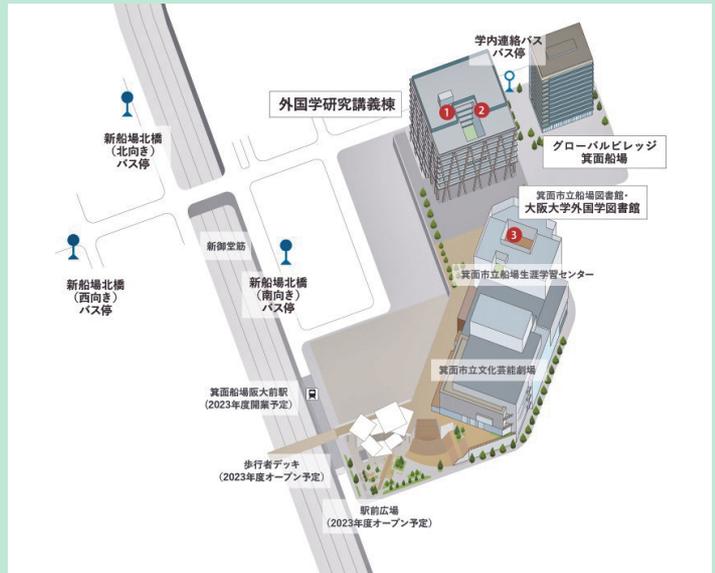


KOBEから世界へ

大阪大学箕面キャンパスへのアクセス



箕面キャンパス周辺地図



交通アクセス

電車	モノレール・北大阪急行線…千里中央下車 北へ徒歩約25分 ※新御堂筋沿いを北へ進んでください。(住宅街は通らないようご注意ください。)
バス	阪急バス千里中央発 ・㉗停留所 [81] [82] [83]系統、[85]系統、[22]系統 ・㉘停留所 [19] [20]系統 新船場北橋 下車 徒歩約5分 ※急行便など新船場北橋に停車しない便もありますので、ご注意ください。 ※系統によって、下車するバス停の位置が異なります。(北向きもしくは(西向き))。千里中央方面は(南向き)のバス停をご利用ください。